

## 1 単元の内容

(1) 探究課題 学年テーマ「地域に生きる人たちに学び、地域の現状やよさを知る」

単元名「地域学習UNNAN」～雲南市をPRしよう!～

(2) 単元の日標

### A 知識及び技能

- ① 課題を設定するための方法や情報を集めるための技能を身につける。
- ② 地域の産業や「もの」の知識を身につける。

### B 思考力、判断力、表現力等

- ① 地域の課題を設定し、解決方法や手順を考え、見直しをもって追究する。(課題の設定)
- ② 目的に応じて手段を選択し、情報を収集し適切な方法で蓄積する。(情報の収集)
- ③ 図書やインタビューで知り得た情報を分類したり、つながりを見つけたりする。(情報の整理・分析)
- ④ 調べたり考えたりしたことをまとめ、相手や目的、意図に応じて論理的に表現する。(まとめ・表現)
- ⑤ 学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする。(振り返り)

### C 学びに向かう力、人間性等

- ① 探究的な活動を通して、自分と地域との関わりを見直し、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。(自己理解・他者理解)
- ② 今後さらに雲南市に関心を持ち、学習を続けていこうとしたり、自他のよさを生かしながら、協力したりして課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとする。(主体性・協働性)
- ③ 探究的な活動を通して、地域と自分のつながりを考え、積極的に様々な活動や体験に参加しようとする。(将来展望・社会参画)

## 2 単元設定の理由

(1) 教材について

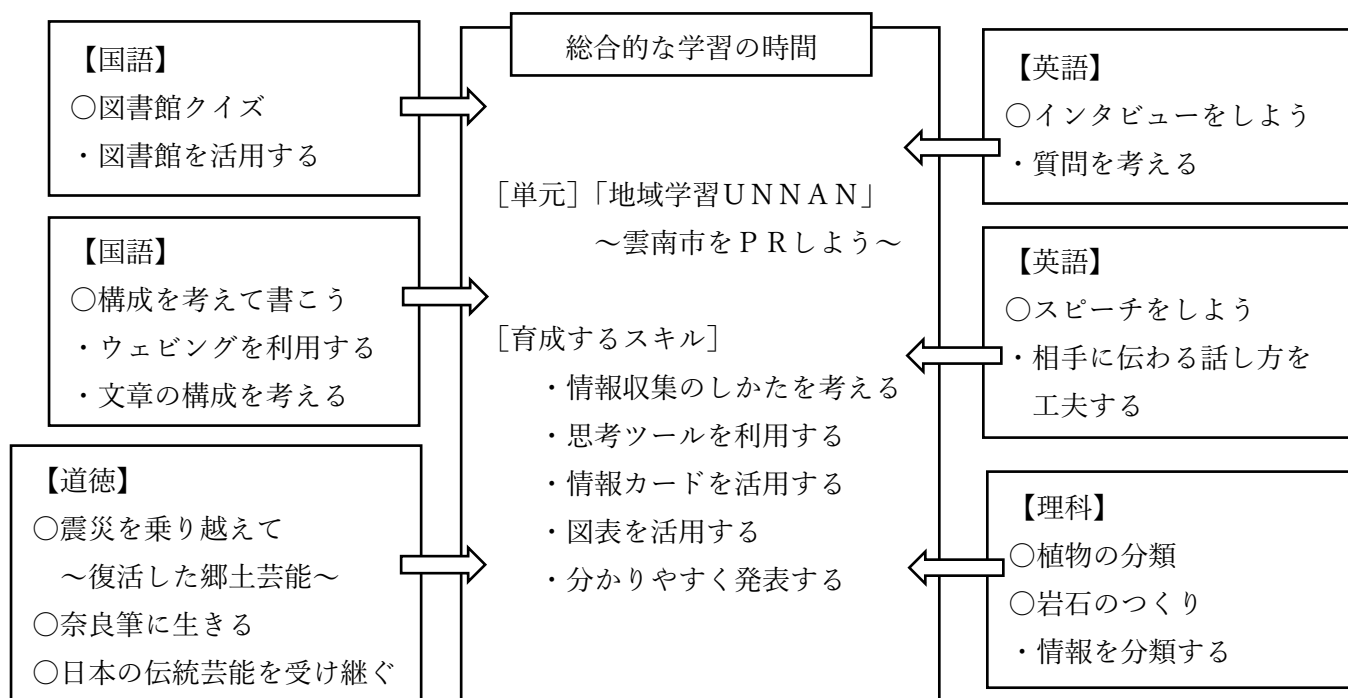
本教材は、自分たちの住んでいる雲南市を知る活動である。小学校段階では三刀屋町について調べ学習をしているが、中学校では雲南市内の6町を調べる。自分の興味関心をもとに6グループに分かれ、地域に合った課題を設定し、その課題を解決するために調べ学習を行う。その際、図書資料やインターネット、インタビュー等、様々な調査方法を通じて、情報収集の技能を習得することができる。まとめの段階では、自分たちで調べた6町それぞれの現状を発表し合うことで、その類似点や相違点を見つけるとともに、雲南市全体の魅力や課題にも気づくことができると考える。この気づきは、2年生での学習テーマ「地域の現状とその将来を考える」につながっていくものである。

(2) 指導にあたって

自分たちの興味や関心をもとに、グループ分けを行い、自分たちで調べたい課題を設定する。その課題を解決するため、図書資料やインターネット、インタビュー等の調査方法をどのように活用するか、考えさせたい。必要な情報を入手するのに、どういった手段が適しているのか、調査方法それぞれの特徴を理解したうえで、調査計画をたてる。そして集めた情報を整理・分析し、雲南市の魅力をまとめる。生徒自身が見直しをもって主体的に取り組めるよう、調査課題を設定する課程で思考ツールを提示したり、調

査計画作成のワークシートを準備したりするなど、場面に応じた教師の支援を行っていききたい。学習のまとめとして、調査および考察結果のプレゼンテーションを行う。文化祭でも発表し、お互いの発表を聞き合い、雲南市の課題を発見させたい。

(3) 教科横断的な指導について



3 単元の指導と評価の計画（全20時間）

(1) 単元の指導計画

次	時	目標	主な学習活動	生徒の反応	評価
1	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス</li> <li>・雲南市クイズ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雲南市に興味をもつ。</li> </ul>	
2	1	図書資料やICT機器の活用の留意点を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館と情報活用について学習する。</li> </ul>		A① 授業観察
	2	他者と協力して学習課題を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内6町から担当するエリアを決める。</li> <li>・自分達で出し合ったキーワードをもとに、マンダラート法を使い調査テーマを決定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当エリアについて知りたいことが明確になる。</li> </ul>	B①
3	1	設定した課題を解決するための調査方法を決める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査計画を立てる。(本時)</li> </ul>		C① ワークシート
	2	図書資料の内容を自分の言葉でまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書資料等を使って情報収集する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査の過程で知りたいことが広がる。</li> </ul>	B② ワークシート
	5	「全体」と「部分」の両	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実地調査をして情報収集す</li> </ul>		B②

		方を見て、「立場」や「視点」を変えて焦点化した内容について聞き取り調査を行う。	る。		
4	1	発表へ向けた道筋を決める。	・情報を整理し、発表へつなげる方法を学習する。	・足りない情報を検討し、追加調査する。	B③
	4	課題を解決するために、調査活動で得た情報を比較・検討し、発表の組み立てを考える。	・調査結果の考察および発表準備をする。		B③
5	1	目的に応じて情報を分類し、整理して分かりやすくまとめ、表現する。	・各グループによるプレゼンテーション（考察の発表会）を行う。	・新たな疑問(課題)を見つける。 →次年度の学習	B④
	2	他者と協力して、課題研究の成果を分かりやすくまとめ、伝える。	・文化祭で学習内容を発表する。		・次年度の学習について、大まかな見通しをもつ。

(2) 単元の評価

十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導と手立て
積極的に活動に参加し、課題解決のために適切な情報を集め、聞く人に伝わるように図表を活用してまとめることができる。	意欲的に活動に参加し、課題解決のために図書資料を探したり、インタビューしたりできる。	情報ツールの使い方を個別指導したり、図書資料の提示を行ったりして、自分で情報を集めたり、まとめたりできるように支援する。

4 本時の学習 (第3次 1時間目)

- (1) 単元名 単元名「地域学習UNNAN」～雲南市をPRしよう！～  
(2) 目標 課題を解決するために適切な調査計画をたてることできる。  
(3) 展開

分	学習活動	指導上の留意点	評価
5	○本時の学習課題を確認する。	○本時の流れを示す。	
	○○町の調査計画を立てよう。		
30	○前時の学習で見つけた課題を確認する。		
	○ワークシートを使って調べる項目を挙げる。	○活用するワークシート	C ①

15	<p>○課題を解決するために、「読んで調べる」(ライブラリーワーク) ことと、「人に聞いて調べる」(フィールドワーク) ことに分ける。</p> <p>○「読んで調べる」項目が、実際にあるかどうか、図書資料を探す。</p> <p>○「人に聞いて調べる」項目の質問内容を考える。</p> <p>○調査計画シートを作成する。</p> <p>○各グループの中間発表をする。</p> <p>○振り返りを書く。</p>	<p>についての説明をする。</p> <p>○机間支援をしながら、図書資料を紹介したり、フィールドワークのアドバイスをしたりする。</p> <p>○適宜図書資料を紹介する。(司書)</p> <p>○各グループの計画を発表するように促す。</p>	ワークシート 観察
----	---	--	--------------

#### (4) 本時の評価

十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導と手立て
調査方法の種類とそれぞれの特徴を理解し、課題を解決するために最適な調査方法を選択することができる。	調査方法の種類を知り、課題を解決するために必要な方法を選択することができる。	図書資料を紹介したり、質問項目の例を提示したりする。

#### 5 研究の視点

○調査計画書を作る活動は、生徒が図書館活用のよさに気づくことにつながったか。

#### 6 授業及び研究協議の概要

図書資料やインターネット、インタビュー等、さまざまな調査方法を活用して、自分たちが住む雲南市6町の類似点や相違点を発見する全20時間の学習の5時間目。課題を解決するための適切な調査計画を立てる活動を公開した。

思考ツールや「まなボード」(思考支援ツール)を使って思考を可視化していた。多種の資料が準備されており、図書館を活用して学習を進める楽しさを体験できていた。活動の計画を生徒自身で立てることを通して、生徒は図書資料の良さに気づくことができた等の意見が出た。